

# 2月号 広報みぶ



町の花 ゆがお

発行 栃木県壬生町 昭和56年2月15日



## どんど焼き

昔々つかしの「どんど焼き」が1月15日、熊野神社境内で行われ、賑わって大や田舎の祭りが始まるまで大盛り上がりでした。この行事は、小正月に門松、かぼちなどを持ち寄り、火で焼く風習で、その火で焼いた餅を食べると風邪をひかないとか、病気がかからないと言われているもので、壬生町青年会（数十年前余振）の人たちと熊野神社で毎年行っています。

### 新入学児童の交通安全

## 交通ルールを親子で語ろう

集団登校する児童(陸小付近)



子供の交通事故で一番多いのは、いわゆる「飛び出し」です。警察庁の統計により、昭和五十四年の幼児と小学生の交通事故のうち六六%、つまり全体の七割近くが路地から大通りなどへの「飛び出し」が原因となつています。小学生の「飛び出し」による事故は、一・二年生が四一・六年生に

### 「飛び出し」による事故が約七割

比べて約四倍にもなっており、低学年ほど危険が多いことを物語っています。

「飛び出し」に次いで事故件数の多いのは「横断中の事故で、停車している車や走っている車の直前直後の横断、信号無視、路上で遊んでいて」などとなっています。

### 子供の行動特性を知ろう

子供を交通事故から守るには、まず子供の行動の特性をよく知ることが大切です。そのいくつかをあげてみます。

▽子供は一つのことに気が向くと、まわりのものが目に入らな

く。ボールが道路にころがり出すとつい走り出すのもそのためです。

▽「あぶないよ」とか「注意しなさいよ」という抽象的な言葉だけでは、具体的な行動と結びつけて理解することがむずかしい。

▽信号無視をしている大人や年

「お母さんへ」



子供のいるご家庭では、ふだんから交通ルールをよく教えるとともに、朝、学校に送り出すときは、次の点に十分気を配りましょう。

- ◎ 出かけるときにしっかりと忘れものをせせさない
- ◎ 通学時間(ゆとり)をもち、遅れる
- ◎ 子供は、しかられるとそのことで頭がいっぱいになり、周囲の状況が目に入らなくなりますが、
- ◎ また、時間にゆとりがなかったり、忘れものをして途中から引き返したりすると、非常にあわてたため注意力が散漫になり、事故のもとになりますから注意しましょう。
- ◎ 一方、車を運転される方は、こうした子供の行動特性を十分理解して、子供を見たら「赤信号」と思い、細心の注意を払きましょう。

3月は「緑化推進の月」です

## 転作目標面積が昨年14%増

### 奨励補助金が減り、団地化加算金を新設

奨励補助金の額については、転作奨励補助金の基本額が昨年比五千円ほど減額されますが、新たに

水田利用再編対策第一項目に当り、今年の本町に対する転作目標面積は、六〇・二ヘクタールが配分されました。この面積は、第二期対策期間中の転作目標面積六〇・〇ヘクタールから昨年の冷害分を軽減したものです。

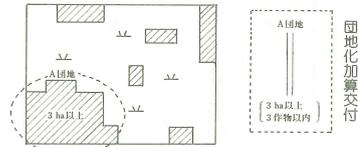
今年の転作目標面積は、本町の水田面積の二八・九パーセントに当たり、昨年比六八・二ヘクタール、十四・六パーセント増となっています。

こうした目標面積の配分に對して町では、農業協同組合・農業経済組合の組合長および町議会経済常任委員長、青少年クラブ協議会長など三十二名で構成する水田利用再編対策推進協議会を一月二日開き、転作目標面積や事前売渡申込限度数量等の配分、および水田利用再編対策について慎重に討議し、方向づけを決めました。

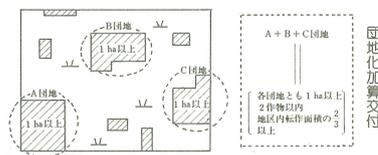
今後、この再編対策の推進については、二月中旬頃農事部長を通じて協力依頼します。農家の皆さんには、特段のご協力をお願いします。

### 団地化加算の要件

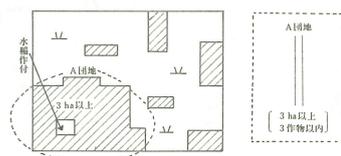
(図1) 単一団地型 水田利用再編計画地区



(図2) 複数団地型 水田利用再編計画地区



(図3) 団地化加算の対象とならないもの

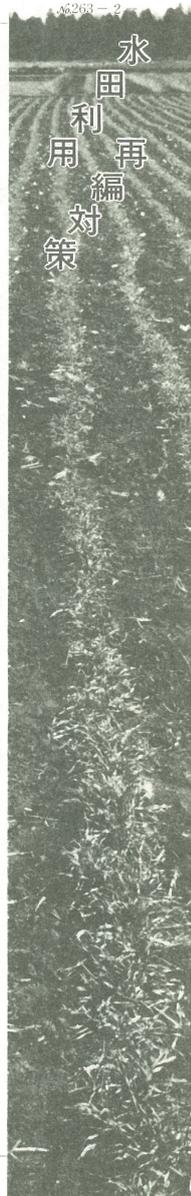


団地化加算額が加えられることになりました。この加算額は、三ヘクタール以上の面積が団地化された場合に適用されます(図参照)。再編対策については、農事部長単位の集落で相談し、集落内の人

たちがこぞで、よりよい方法で実施されるようご協力ください。詳しくは農事部長、または農務課でおたずねください。

団地内に水稲作付田があるため、団地とは認められず、団地化加算は交付されません。

## 水田利用再編対策



適材適所

心身障害者に温かい職場を

昭和56年 国際障害者年



それぞれの人が、その適性と能力に応じた職業につき、生きがいを感ぜながら充実した毎日を送ることができるように「これは私ならみんなの願いです。」

「適切な仕事がない」などをあげることになりません。しかし、このような理由をあげるのではなく、心身障害者をよく理解していかないとダメです。障害者が能力に合った仕事を就いた場合は、健全な人に優るとも思われない力を発揮することはよく知られています。

信頼され、売り上げ成績も順調。また、障害者が製造業関係ももちろん、スーパー・マーケットなどのレジ係や伝票整理の仕事に就

く一方、最近ではリハビリテーション施設で訓練を受けた人たちがコンピュータ関係のプログラムや電話交換手として、その能力を発揮している例が見られます。また、ねばり強い「これ」が、事業主の間で定着しつつある心身障害者に対する態度です。「国際障害者年」に社会に生かすために、一人でも多くの障害者を温かい気持ちで職場に迎えたいのです。

- ①身体障害者作業施設設置助成金
- ②身体障害者能力開発訓練施設設置助成金
- ③身体障害者住宅等確保助成金
- ④身体障害者等専任指導員設置助成金
- ⑤重度障害者多数雇用事業施設設置等助成金
- ⑥重度障害者雇用管理助成金
- ⑦身体障害者等能力開発訓練委託助成金

以上、七つの助成制度や雇用促進融資制度について詳しくお知らせにならない方は、最寄りの公共職業安定所でおたずねください。

心身に障害を持つが、職業に就きたいという意欲を持ちながら、障害があるというだけで雇用の場に入容れられないとすれば、本人はほんのろん社会にとても大きな損失です。

〈テーマ〉

完全参加と平等

昭和56年(1981年) 国際障害者年



わたしたちの社会は、いろいろな人間のあつまりであり、人はそれぞれに助け合って生きていかなければならない。

障害者にも①

交流を深め

人間的なふれ合いを

障害者あまり接したことのない人たちの中には、障害者は、一般の人たちと全く違っているとか、障害の原因はすべて遺伝によるとか、障害の状態は伝染するとかいった誤解や偏見から同情やあわれみの気持ちで接したり、好奇の目でじろろ眺めたり、拒否的な態度で接したりする人がいまだ少なくありません。このような障害者に対する誤解や偏見、あるいはそれらに基づく誤った態度などが、障害者の地域社会への平等な参加を妨げている原因となつてい

ます。このようなことをなくすためには、障害者も持っているという自らは特別なものがなく、普通の高い人や低い人、速く走ることのできる人やできない人というように、身長の違いや運動能力の違いと同じ個人差のびとつてであると理解し、ごく自然な態度で接することが大切です。実際に障害者と接してみると、これらがよくわかります。特に今年には、国際障害者年記念事業な



どが行われますので、積極的に参加し、障害者と交流することによって人間的な融れ合いをより深めていきたいと思います。

豊かな地域づくりを目指す安塚地区

コミュニティ準備委員会発足

おもしろやまのまち駅周辺地区では、三年前にコミュニティ推進協議会が発足し運動や地域活動を通して、住民相互の理解と融和が図られてつあり、新しい地域社会づくりが進んでいるところから、新たに安塚地区でも今年の四月を目ざしてコミュニティ推進協議会を発足させよう、設立準備委員会(石川登良会)がスタートしました。

安塚地区コミュニティ推進協議会(仮称)の区域は、安塚小学校の通学区域内で、すべての住民を対象としているところから、設立準備委員は自治会長を中心に構成されています。コミュニティづくりは、わたしたち住民の手づくりによる地域社会づくりです。特に最近の社会情勢の中で、わたしたちの生活環境は大きく変わり、やがてと個々人が個人へ、地域社会よりも個々の生活と言うように、活動範囲が狭くなり、住民の心のふれ合い

そのためには、お互いの立場や考えを理解し合えるように、ふだんから身近な話し合いをし、相互理解を深めることが大切です。豊かな地域づくりは、住民相互の理解と融和から一ます共通の「土俵」に立つことが先決といえます。この土俵に当たるのが、コミュニティづくりであり、コミュニティ推進協議会です。もちろん住民参加が何にもましても必要なのは言うまでもありません。

父兄も参加六千人が米飯試食

消費拡大に小中学校で

米の消費拡大をねらった米販学校給食試食会を2月7日、町内各小中学校で行いました。

町主催によるこの試食会は、教育委員会と生徒会クラブ協議会の後援をえて、米の正しい理解と地域の食生活を通した米飯食の定着、拡大を図ろうと各学校ごとに

行ったもので、児童・生徒およびその父兄を対象としたこの試食会の参加者は約六千人で、この日のニューのこはん、かわりきんぴら、山川漬、納豆、ミルク、牛乳、ヨーグル、みかんの八種類を試しました。



好評だった試食会(中公民館)

農作業の安全と効率利用すめる

農業機械士会が発足

農業の機械化が進み、農作業中の事故が増えているところから、事故防止と農業機械の効率的利用を指導しようとこのたび農業機械

士会(柴川新二郎会長、十員)が発足しました。

農業機械の効率利用と安全対策事業の一つとして結成されたこの高橋のたの広報啓蒙活動や定期点検の推進、および安全作業の実演講習会などを行います。

米は太るのは「濡れ衣」

日本人の主食 米の消費量は昭和三十七年の年間一平均百十八・三キログラム(約俵五)に、以後、年々減少の一途をたどっています。

しかし、米は自給力一〇〇パーセントのうち、栄養価は高、わたしたち日本人の主食として、これ以上のものはありません。もう一度、米を見直してみよう。一度、米を食して「一部で言われているようですが、本当でしようか。」

その原因を簡単に説明しますと、食物からのカロリーの量が体を動かすために必要なカロリーを上回った場合に、余分なカロリーが体内で脂肪に変えられ、皮下にたくわえられていってしまうのです。

コンニャクやカンタンなどのようにカロリーの少ないものは別にしても、多かれ少なかれカロリーがあります。ですから果物など、一般に美容



米の長所である。おいし、が、つい食べ過ぎを誘い、太る原因にされてしまったのです。

食に、われわれは食べているものでも、食べ過ぎれば太るのは当然で、米も例外ではありません。このように体の仕組みから、太る原因は米にあるのではなく、食べること自体を動かさずこのアンバランスにあるのです。では、米のカロリーについて見ま

そう、米一杯(約百十グラム)の茶碗一杯(約百十グラム)の飯で約百六十カロリーのほぼ同じです。しかし、食パン(一枚)やシヤムをつけてみると、食パンにはさつとカロリーが加わるわけで、パンに比べて米は太るといいうでは、米がかたいそうです。いまアメリカでは、米を肥満防止や成人病予防の食事として注目されています。その理由は、アメリカ人の食生活の中心に、肉や内臓の多い高カロリーなものに比べて、米は低カロリーながらも豊富に栄養素を含んでいるからです。

# 三十五年の歴史をしるし 開拓記念碑を建立



壬生開拓団の開拓記念碑除幕式が八日午前に当り、一月十五日、船田知事、松本勲開拓者連盟委員長、佐藤三郎県議員をはじめ、佐藤町長、星町議会議長、大業農協議長や関係者等招いて盛大に行われ、小林啓作実行委員長、渡辺辰典委員長をはじめとする開拓関係者は、感慨深げでした。

記念碑建立については一昨年十月頃から盛り上がり、五人の発起人が中心となって先進地視察を行うなど準備を進めていたもので、八十八人の開拓団員の提出と六美町公民館隣りの建立地の寄付を得るなどして実現したもので、工費は設計料、諸経費を含めて三二万八千円に達した。

不毛の地を開墾し、當農形態を整えるまでには筆舌に表わせない努力と精神力によるところが非常に大きく、母や契などの新しい作物の導入をはかり、その基盤を確立しようとして思うにまかせず、取極があつても賤路で苦労するという問題等をかかえながら経過しましたが、昭和二十年代後半から高度経済成長の波の中で、開拓地の一角に玩具工場地および住宅団地が造成され、その後地場の環境が大きく変わってきたことから、戦後の激動を乗りきった開拓団を発展的に解散せよ、三十五年にわたる開拓の歴史を閉じるに当たり、記念碑を建立したものです。



汗と涙の歴史を裏面に記した開拓記念碑

田余、また、記念誌が近々発行される予定です。

この開拓団は、引揚げ者や農家の二、三男などが大平洋戦争直後の昭和二十一年一月十五日、現在の六美町南部、北部およびおちまのまち、幸町の区域にあった元壬生飛行場跡地の三五〇ヘクタールに入植し、広大な原野を切り開き、開拓農業に専念しました。

船尾さんは、一九〇七年農林業セブサをほし、一九〇八年農林業八〇年セブサなど、また新井さんは商業統計調査会長から、それぞれ統計功労賞として表彰を受けてました。

## 初期消火は我々の手で

### 備えあれば...と田辺さんら消火栓設置

初期消火はまず我々の手で...と、熊鷹原町の隣り同志の田辺圭、鈴木佐一郎、時清藤さんの三人は、消防団員の経験から、初期消火の必要性を痛感し、このたび三軒共同で消火栓を設置しました。



田辺さんら宅の消火栓を見る同長

水源は、二百メートルほど離れた水田用の揚井戸を利用し、六十ミリの鉄管を自宅敷地まで敷設し、消防団員に消火栓を設置した。水圧などは専門的なことは消防署の指導を得ただけに、能力不足と家庭用としては立派なものです。既存の井戸を利用して、鉄管の埋め込みは自分で行ったのですが、それがそれでポンプ(五キロワット)や鉄管などの購入に八十万円ほど必要だった。

この消火栓の特徴は、送水管から家庭用飲料水を取水して使うことと、故障した時すぐに判ること、家庭用の電灯線と電源が別になっているところから、万一の出火の時に電線を切られても、使用できるよになつていきました。

受賞者を代表して表彰を受ける船尾萬作さん



## 女性の安全運転心得

「ドライバークラブ」が受講女性ドライバークラブで、1月24日、総合運動管理棟で研修会を行い、会員の資質向上を図るため70名が参加しました。

県交通安全協会から講師を迎えて、女性ドライバーの特性と安全運転について話を聞きました。それによると女性ドライバーは慣性がある反面目が見え運転が自己中心的なところがあり、またノカに弱く、運転技術が劣るなど、悪い点が目立っているところから、事故は我が家を中心とした生活道路に多く、交差点での事故原付事故、飛び出しによる事故、わき見運転による事故などが大半を占めているそうです。

このような点から、安全運転をするには、コンパクトやハイヒールでの運転、また子供の同乗などには注意して、交通安全は家庭から実践しようというところになりました。



講義に耳を傾けるクラブ員

## 粕尾さんら三名 統計功労で受賞

第十八回栃木県統計大会が1月23日、栃木会館ホールで行われ、その席上、上通町の粕尾萬作さん

あたたかい善意  
ありがとうございます

歳末たすけあい募金

## 四月から四、五〇〇円

### 国民年金の保険料額が変わります

国民年金の保険料は五十六年四月分から一月四千五百円になり、四月から四、五〇〇円になります。

国民年金の年金支払いに必要な財源は、みなさんの納めた保険料収入と年金給付の財源がバランスのとれたものでなければなりません。

現在、多くの方が受けている老齢年金をはじめ、障害年金、母子年金などの年金額が昨年一月に七月までさかかぶって引上げられ、これにもい、保険料の引上げが必要となりました。

国民年金は年金給付額の三分の一が国庫補助となっており、そのため改正後の年金をまかなうためには、八千円程度の保険料が必要となります。

しかし、みなさんの急激な負担の増とをならすために、段階的に保険料を引上げるければなりません。

四月分から引上げられる保険料は、年金給付の改善にあてられ、五十六年四月分からの保険料は四千五百円となりますので、納め遅いのないようにご注意ください。

寄せられました。誠にありがとうございました。

○お金は、被・要保護世帯や独居老人、施設入所者などに配分されたいへん喜ばれます。

募金・配分内訳は次のとおりです。

- 募金内訳 八五〇、一一二四
- 別募金 六九九、九三五四
- 篤志附金 一七九、〇七八四
- 計 一、七一九、〇七八四
- 配分内訳 25世帯(63名)
- 被保護世帯 一一三、〇〇〇円
- 要保護世帯 48世帯(17名)
- 長期入院療養者 四四、五〇〇円
- 施設入所者 四四、五〇〇円

39施設(職名)

- 四五六、〇〇〇円
- 在宅重度心身障害者(24名) 八四、〇〇〇円
- 独居老人(10名) 四四、五〇〇円
- ねたきり老人慰問団(職名) 一〇八、〇〇〇円
- せせらぎ学園 一四、二六八円
- せせらぎ学園児童商品 六〇、〇〇〇円
- ハンセン氏病見舞金 七、〇〇〇円
- 事務雑費 一、七一九、〇七八円
- 計 一、七一九、〇七八円
- 篤志附金内訳(敬称略)
- 小野口タミ 六八〇円
- 橋本直樹 一、二二九円
- 杉本キク 一、九〇〇円

青柳 治子 二、〇〇〇円

太田 金吾 二、〇〇〇円

匿名 三、〇〇〇円

文化協会特捐部 三、〇〇〇円

町青年団 四、六八八円

町青年会 五、〇〇〇円

町お花会 五、〇〇〇円

壬生中生洗会 教職員 五、七七七円

軽部一男 六一、七六円

町盆裁クラブ 一一、二九八円

壬生十一会(せせらぎ学園) 一四、二七六円

藤井小児童会 一五、四七六円

壬生中三年音楽同好会 一六、一〇一円

民謡声山会 二一、〇五〇円

睦小学校 二八、一九九円

町議会 三〇、〇〇〇円

町青年団(街募金) 三〇、〇〇〇円

○金一、八五四円

壬生中一年四組様

○金四、五〇〇円

東小一年 渡辺ゆかり様

○金七、三〇〇円 おちまのまちキリスト教会土曜教会学校様

計 六九九、九三五四

○金一、八五四円

「善意銀行」

預託ありがとうございます

「善意銀行」

春季全国火災予防運動

2月28日～3月13日

からまる事故は、冬から春にかけて多発しています。このような事故がおきないよう、次の点に気をつけましょう。

○ハウスビニールが舞上らないようにする。

○ハウスビニールや包装用ビニールは使用後放置しない。

○万が一電線や電柱にかかったときは、絶対に電柱に昇ったり棒などを使って自分で取らずに東京電力栃木営業所(電話011-1111)へご連絡ください。

# みんなのひろば

## 友情と涙の船 につぼん丸



藤井青年団  
寺内澄夫

この欄は、みなさんが気軽に参加できるページです。  
身近な話題やできごと、写真、行事など、お知りになりたいこと、何でもかまいません。  
あて先は、企画課広報担当へ  
電話 011-239 内線 74

私達、一人一人の心のあり方を考えさせられました。

船内での研究討議では、明日の郷土を築く青年の社会参加、という主題のもとに、地域社会における良いコミュニケーションをつくるのには、どうすれば良いかについて研究討議を行いました。

私達は、現代社会においてもすばは、安易に流されてしまいがちであるが、人間の生きがいでも、人と人とのつながりを再確認し、人々の間に存在する、コミュニケーションの意識を改めて認識しつつ、思いやりのある人間性の向上に努めて行きたいと思えます。

サンクトペテルブルグ大学、サンフェルナンド小学校の交歓会では、お互いの国の事や家族の事などを辞書を片手に四苦八苦「スロロリー・スロロリー・ワットワット」の連続、語学力不足と意志を伝えられたこと、難かしさを感ぜられました。また、ナリナクビナでは、海水浴も楽しめました。

フィリピンに数々の思い出を残し六日間におわる訪問も無事終了十一月三十日、日本へ帰路につきました。

船内生活 最後の夜の「よまな夜」に、パーティーが、今も強く印象に残っています。団員二百四十三名の手には、ロソクの火が燈されたまま、この船に乗りかかっています。死ぬも生きるもいっしょ、と言われた弓場船長。数々のでき事が浮かんできます。そんな中で、手を取合い、肩を組み歌った、「今日の日はさようなら」も、絶えず事無く友達でいて、いっしょに。身知人の者とお出合いのすばらしさを感ずっています。

船内生活 最後の夜の「よまな夜」に、パーティーが、今も強く印象に残っています。団員二百四十三名の手には、ロソクの火が燈されたまま、この船に乗りかかっています。死ぬも生きるもいっしょ、と言われた弓場船長。数々のでき事が浮かんできます。そんな中で、手を取合い、肩を組み歌った、「今日の日はさようなら」も、絶えず事無く友達でいて、いっしょに。身知人の者とお出合いのすばらしさを感ずっています。

船内生活 最後の夜の「よまな夜」に、パーティーが、今も強く印象に残っています。団員二百四十三名の手には、ロソクの火が燈されたまま、この船に乗りかかっています。死ぬも生きるもいっしょ、と言われた弓場船長。数々のでき事が浮かんできます。そんな中で、手を取合い、肩を組み歌った、「今日の日はさようなら」も、絶えず事無く友達でいて、いっしょに。身知人の者とお出合いのすばらしさを感ずっています。



十月十八日晴海を出発、私たちは一路フィリピンへ旅立った。沖繩までの二日間は、船内活動である。ゼミ、クラブ、講義などあったのは、やはり友達と語り酒を飲む事である。職業、年齢は違っても、考えている事は、同じであった。同じ年の船に乗り、苦楽を友にする仲間と飲む酒はまた一味違う。弓場船長の言葉の中に「同じ船に乗り、苦楽また生死を友にする仲間ではないか。同じ生死を友にするならば鼻の筋のゆるい友人を作らなさい」という語が印象深い。



羽生恵竹  
奈良 勇

沖繩までの二日間は、船内活動である。ゼミ、クラブ、講義などあったのは、やはり友達と語り酒を飲む事である。職業、年齢は違っても、考えている事は、同じであった。同じ年の船に乗り、苦楽を友にする仲間と飲む酒はまた一味違う。弓場船長の言葉の中に「同じ船に乗り、苦楽また生死を友にする仲間ではないか。同じ生死を友にするならば鼻の筋のゆるい友人を作らなさい」という語が印象深い。

沖繩までの二日間は、船内活動である。ゼミ、クラブ、講義などあったのは、やはり友達と語り酒を飲む事である。職業、年齢は違っても、考えている事は、同じであった。同じ年の船に乗り、苦楽を友にする仲間と飲む酒はまた一味違う。弓場船長の言葉の中に「同じ船に乗り、苦楽また生死を友にする仲間ではないか。同じ生死を友にするならば鼻の筋のゆるい友人を作らなさい」という語が印象深い。

沖繩までの二日間は、船内活動である。ゼミ、クラブ、講義などあったのは、やはり友達と語り酒を飲む事である。職業、年齢は違っても、考えている事は、同じであった。同じ年の船に乗り、苦楽を友にする仲間と飲む酒はまた一味違う。弓場船長の言葉の中に「同じ船に乗り、苦楽また生死を友にする仲間ではないか。同じ生死を友にするならば鼻の筋のゆるい友人を作らなさい」という語が印象深い。



本郷出身者の英霊をまつ  
（柗木の塔、沖繩）

非常な明るくて解放的である。始めて行く人も、よくコレと笑みを浮かべ、挨拶をしつくりと日本人のよりに引く込思案ではない。私たちは、バスで寄港地活動を行いました。マニラのあたりこちらで気さくな人柄に触れることができた。フィリピンの反面、発展途上国であるが、同国その生活に満足しているように見えた。日本と比較すると生活のリズムが違う。なんとなくフィリピンの人々は、スロテンポであるように思う。我々日本人のイメージがどうあると、その日一日を暮らすために働く、といった感じであった。しかし日本人のように、仕事、仕事に追われおせくすることもない。ある面でうらやましく思えた。

今、フィリピンと言うと、「コレラ」と結びつける人が多いと思ふ。我々行く前から、知事を初め多くの人が驚かされたため

かなりの妨げになった。食事等、腹が減っていないも「コレラ」のために食べられないのである。コレラは、フィリピン青年との交換会でも妨げになった。握手手ぶられてなかなかコレラが邪魔になり気軽に話せられないのです。慣れればなんとかなった。いろいろ、とりとてのない事を書きました。我々は、はじめて異国の土を踏んで、日本を見た。日本と言う国が、いかにすばらしい国か、身をもって痛感させられた。活字・農業・工業とれをとつて、現在、私たちは、せいたくな暮ら



町青少年  
クラブ  
青年団  
高山 仁

しに慣れきてしまっているが、もう少し考えをおすべきでは、ないでしょうか。最後に、私が青年の船で得たものは、はかりしれない程、大きい。よくフィリピンは、金と暇とあれば、いつでも行けると言いが、私は、こう言形で、一度と行かないと思ふ。私がこの青年の船に参加したのは、両親が健在で、また両親の協力に感謝したいと思ふ。

いまでも、数多くあったが、それが、良しと思ふ出で、またた青春の「イメージ」として、まとも心にとめておきたいと思ふ。

り、それに対して自分なりの意見を発表し合うのである。団長講話は「ふるさとと若者」という題で、団長が、これからの若者のあり方などを、話してくれた。

沖繩では、柗木の塔、健児の塔、ひめりの塔などの南部戦跡をめぐり、参拝した。ここであらためて、戦争の恐ろしさを痛感し、二度と起こしては、ならないものだと思ふ。この夜、船内で音楽の夕べが、盛大に行われた。沖繩から、フィリピンに向う途中、パシシー海戦後、第二次世界大戦の時、ここで戦死した多くの人々の霊を、慰めるための、海上慰霊祭が行われた。



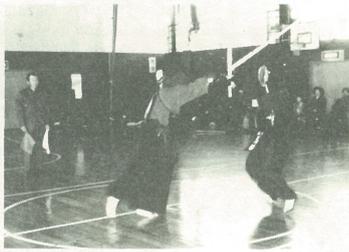
フィリピンのリサール記念碑

会を行なった。その夜、船上招待交歓会を行ない、サンクトペテルブルグの学生と歌を歌った。ダンスをしながら楽しむ時をすごした。この交歓会では、サンクトペテルブルグの学生を通じて、フィリピン大学の国際親善をはかるもので、自分にとってフィリピンでの思い出にのこるもの一つであった。

マニラでの見学最後の日、フィリピン人の足もよい。工場を見学した。それから、やみ林を観望したり、タール火山、タール湖を見た。サンフェルナンド教会に行き、ここで、竹で作った、珍しいパイオオルガンの、演奏を聞いた。サフェルナンドでも、学校訪問を行ったり、タウンアラザという所で、「日本の文化」を行なった。バギオ大学との、交歓会も行なわれた。このように、フィリピンでは、交歓会や、学校訪問などで国際親善を、深めてきた。

この青年の船に、参加できるよう多額の援助していただきました。多くの皆様へ、お礼申し上げます。この船内研修、そので得たものも、これからの活動に役立てて、いきたいと思ふ。

この青年の船に、参加できるよう多額の援助していただきました。多くの皆様へ、お礼申し上げます。この船内研修、そので得たものも、これからの活動に役立てて、いきたいと思ふ。



馴れない竹刀を手に健闘する父親

### 親子リーグ戦や餅つき行

#### 剣道教室の納会

壬生町剣道教室の寒稽古納会が1月18日、壬生小体育館で行われ、基本動作や試合のあと、親子リーグ戦や子供たちの餅つきがありました。

寒稽古は、心身の鍛錬のため例年一週間程度行われているもので、この日の納会では、初めての試みとして親子リーグ戦を行い、ふだん竹刀を持ったことのない父親に、子供から激励がとぶなど、厳しきの中にも心温まる親子の、ふれ合いの日でした。

### 500人の親子で賑う

#### 思川川原で風揚げ大会

教育委員会と子供会育成会連絡協議会が共催した親子風揚げ大会は、旧正月の4日に当たる2月8日午後1時から、思川川原で行いました。

創作風やゲイラを手にした親子連れ500人が、文字通り親子ぐるみで糸一本を頼りに風揚げに興じました。

折りからの北風に乗れきれない風。強風に破れた風。絡み合って糸が切れ、飛んで行く風。大空をゆうゆうと舞う風。……風の表情はいろいろですが、子供たちの表情は、風を追う真剣な眼差しと親への信頼がいっぱいの楽しいひと時でした。

大会に先だち、風作りと風揚げの仕方について講師のお話があり、また、終わりに参加賞と飛揚の部、創作の部のそれぞれ優秀者に賞状と賞品が贈られました。

川川原で



風揚げを楽しむ子供たち(思川川原で)

### 壬生寺の節分祭



節分の日の2月3日、上新町の壬生寺で、恒例の節分祭のお宝まきが行われました。

慈覚大師誕生の地として知られている壬生寺は、毎年大勢の客で賑わいますが、この日も午後3時にはピークに達し、延べ一万人の人が出がありました。

**3月の休日当番医**

診療時間は、午前9時～午後4時まで、当番医師の往診はできません。

1日 小倉内科医院 上通町 ☎00557

8日 木村 医院 仲通町 ☎11550

15日 小倉外科医院 上通町 ☎11995

21日 菱田 医院 緑町二 ☎15112

22日 おもちやのまち 幸町二 ☎15117

29日 とつかいりん 国谷外道 ☎3148

整形外科 ☎3148

**中小企業金融相談**

毎月第一金曜日に金融相談所を開いています。融資などでお困りの方は、ぜひお出掛けください。

とき 3月6日

午前10時～午後3時

ところ 役場 相談室

**税理士無料相談**

とき 3月3日、4日

午前9時～午後4時

ところ 役場別館会議室

対象となる方には、個人通知が届いていると思えますので、お忘れなくご相談ください。

## カメラスケッチ

### 誓い新たに――

#### 町内三中学校で立志式



生徒の成長を祝う立志式が2月4日、町内三中学校で行われました。

今年の対象者は、壬生中214名、稲葉中39名、南天飼中188名の合計441名が保護者同伴で招待され、町長はじめ多数の来賓の方々から励ましの言葉をいただきました。そのあと、誓いの言葉が立志者代表から述べられ、これを機会に一人一つの誓いを色紙に書き、気持ちを新たにしていました。

「立志」という言葉は、目的を定め、その達成を決意するという意味で、この立志式は、14歳の中学2年生が対象となり、これから青年期を迎え、心身の成長過程にある時期に、その成長を祝い、本人の自覚を促すことを目的に行われています。

写真は、今年度で廃校となる稲中で行われたものですが、当中学校は、対象者がわずか39名という少数のため、1年生、3年生もいっしょに参加して、立志の日を祝いました。また、式終了後には記念事業として「はだしのジョゼ」「ばくの変身」という映画が上映されました。

### 健脚を競う

#### 第二回町民マラソン大会

健全な精神と強健な身体を養い、町民相互の親睦を深めようと、壬生町青年団協議会(藤栄正幸会長)では2月1日、第二回町民マラソン大会を行いました。

開会式の始まった午前9時頃から雪が降りだす最悪のコンディションのためスタート時刻を15分早め、9時45分に壬生小校庭を一斉にスタートしました。

バイパスを横断し西高野～釜ヶ淵～鹿島の農免道路を往復する8km、6km、4kmのそれぞれのコースを200人の人たちが競いました。上位入賞者は次の通りです。

- ・中学生男子 (6km) ①五月女雅之(19分) ②佐藤幸夫(19分3秒) ③林範昭(19分13秒) ・中学生女子 (4km) ①荒川千代子(14分33秒) ②神長美和子(14分35秒) ③木野内明子(14分45秒) ・青年男子 (8km) ①藤原武(28分39秒) ②石井清(28分48秒) ③大塚博(29分38秒) ・青年女子 (4km) ①瓦井悦子(15分48秒) ②原光子(20分15秒) ・壮年男子 (6km) ①三村幸三(19分50秒) ②高橋孝夫(20分13秒) ③柴川弘行(20分35秒)



壬生小校庭をスタートし中央公民館前を通過する先頭グループ

### 相談

#### あれこれ

### 育児相談

とき・ところ 壬生中央公民館 3月26日(木) 勤務青年ホーム 3月27日(金) 時間は、いずれも午前10時～12時 内容は、検診を受けなかったお子さんおよび乳幼児の育児について保健婦が相談に応じます。

### 心配ごと相談

毎週火曜日に心配ごと相談所を開いています。秘密は固く守ります。お気軽にご相談ください。 3月3日 役場日本間 3月10日 稲葉地区公民館 3月17日 役場日本間 3月24日 南天飼地区公民館 時間は、午前10時から午後3時までです。

### 消費生活苦情相談

毎月第一金曜日に相談所を開いています。 品質表示やラベル、レント、現物などを持参すると効果的です。 とき 3月6日 午前10時～午後3時 ところ 役場 相談室

### 母親学級

とき 3月10日(日)午後1時30分  
 ところ 壬生中央公民館  
 対象者 町内居住の妊婦  
 内容 ①産後の生活  
 ②赤ちゃんの扱い方  
 ③沐浴の実際

### 三か月児検診

とき 3月11日(月)午後1時30分  
 ところ 総合運動場管理棟  
 対象児 昭和55年11月11日～12月10日までの出生児  
 検診内容 斜頸、股関節脱臼検査  
 身体測定

### 三種混合予防接種

(破傷風、ジフテリア、百日咳)  
 とき・ところ 3月2日(月)  
 午前10時～12時  
 ところ 壬生中央公民館  
 講師 宇都宮大学教授 金崎 美美子先生  
 演題 これからの婦人と役割  
 ※入場歓迎(無料)

### 婦人講演会

### お知らせコーナー

二期を終了していないお子さん持参するもの  
 母子健康手帳、問診票、スリップ、尿検査証明書(3歳以上)

### 固定資産課税

昭和56年度の固定資産課税台帳を次のとおり縦覧に供します。  
 縦覧期間 3月1日～3月20日  
 (勤務時間内に限りです)  
 縦覧場所 役場税務課

### ボーイスカウト募集

ボーイスカウト下都賀第1団では、次にボイスカウトを募集します。  
 募集人員 15名  
 対象者 小学新三年生  
 申込先 文輝堂内B5下都賀第1団本部  
 申込締切 3月20日(金)  
 面接・説明会 3月29日(日)午前10時  
 中央公民館階上会議室  
 詳しくは申込先へお問い合わせください。

### 廃犬引き取り日

とき・ところ 3月25日(日)  
 午前9時30分まで  
 役場本庁 午前9時40分まで  
 南大飼支所 午前10時10分まで  
 稲葉支所  
 飼主は予定時間まで引き取り会場でお待ちください。なご何かの

都合で帰られる方は、保健課および各支所へ連絡してください。

### 勤労青少年ホーム

町、石碓町の五つの勤労青少年ホーム利用者の芸術作品発表会が、次のとおり開かれます。ぜひご覧ください。  
 とき 3月8日(日)  
 午前10時～午後6時  
 3月9日(月)  
 午前10時～午後8時  
 展示場所 栃木市民会館大ホール  
 主 催 栃木県小山労働事務所ほか

### 運転免許更新新時講習

とき・ところ 3月13日(金) 壬生中央公民館  
 3月25日(日) 獨協医科大学  
 時間は、いずれも午前10時から始まりです。(無料)

### 今月の人口

2月1日現在	対前月比
総人口34,977人	+26
男 17,400人	+17
女 17,577人	+9
世帯数 9,524世帯	-4



### 壬生史跡めぐり その二 壬生城跡(城内)

寛正三年(一四六二年)、京都から壬生に下降した小槻彦五郎兼光は姓を壬生と改め、壬生荒間地に館を構え、この地方の覇者として名乗りをあげたが、その子第二代綱重は、更に覇者の基盤を固めるため、文明年間頃、城内の地に新たに城を築いた。戦国時代初期のことで、これが壬生城の起りである。壬生氏は第五代義雄の時、小田原の北條氏に味方をし、豊臣秀吉の軍と戦って敗れ自害した。



壬生城跡本丸の濠と土塁

壬生家は五代約百二十年間を以って滅じたが、その後、天下の覇者は徳川家康となった。壬生氏のあと、壬生の城主となったのは結城氏(一万石)代約十年間、日根野氏(二万石)代二十四年間、阿部氏(三万五千石)代三年間、市川氏(代官一代一年間)、三浦氏(二万石)代約五十年間、松平氏(二万二千石)代三年間、加藤氏(三万石)代十七年間、鳥居氏(三万石)代十七年間(一七二二年)から明治維新まで七代百十七年間であった。城の規模は膨大で、現在の城内、城南の土地はすべて城の内にいるが、城の跡は鉄砲伝来以前のことであり、弓矢を武力として利用した時代なので、濠の中は比較的狭く、土塁も余り高くなかった。又、城の正門である大手門(追手門)は、元城南から奥生前を通る道路に当たっていたが、松平右京大夫綱定が壬生城に入った時に東の方、即ち通と城通りから内町に向う方面につけ替えられた。今に残るのは正門とそれにつづく一部だけである。城の見取図は精忠神社の宝物となっている。



羽生田城跡(現在羽生田小学校の敷地となっている)

### 羽生田城跡(羽生田)

壬生氏が郡を唱え、時代、板橋城、蕨井城と共に壬生城の支城として築かれた。今は羽生田小学校の敷地となつて居り、ほぼ元の姿が残っている。羽生田城は藤倉勘斎が居城とした。(筆者 藍田)